

既存漢方薬の心不全予防薬としての有用性検証に関する研究

1. 研究の対象

2010 年 1 月～2014 年 12 月に当院脳神経外科を受診された方

2. 研究目的・方法

日本における死亡要因の三大疾患に心疾患が挙げられており、高齢化に伴いその数は増加しています。特に秋田県では、高齢者人口の増加に伴い、心不全死亡率が他県に比較し、1.5 倍と非常に高いことが問題です。心不全患者の予後は悪く、より優れた治療薬および予防薬の開発が求められています。一方で、安価で比較的安全に処方可能な漢方薬を処方されている方は多いです。しかしながら、各種漢方薬の心筋への作用についてはあまり知られておりません。当研究グループは、細胞を用いた実験で、心筋保護作用を持つ可能性のある漢方薬を発見いたしました。本研究では、秋田大学医学部附属病院において該当漢方薬を服用している患者を対象とし、該当漢方薬を服用していない患者と比較して、心不全発症リスクおよび心不全死亡率への影響（保護効果の有無）を明らかにすることを目的とした、後ろ向き観察研究を行います。

研究実施期間：研究実施許可日～2025 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

該当患者様の服用薬歴、該当患者の病歴、年齢、性別、心機能 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：秋田大学医学部附属病院薬剤部（所属住所：秋田県秋田市本道 1-1-1）

電話番号：018-884-6309

担当：加藤 正太郎

研究責任者：国立秋田大学大学院医学系研究科器官・統合生理学講座 田頭 秀章

-----以上